

私たちと 大和川

～布留川～

今回で5回目の発刊となる「私たちと大和川」。
今回取り上げるのは、その流域のほぼすべてが
天理市を流れる布留川(ふるがわ)です。
川の様子やおすすめスポットなどを紹介します。

水系／一級水系大和川 水源／龍王山付近
流域面積／53km² 長さ／約11km

1. 概要

天理市苕原町(ちしゃわらちょう)の龍王山付近
に水源を持ち、国道25号線に沿うように谷地田を流れ、親水公園(レイクパーク)や天理ダムを
経て天理市街を西流。田原本町と天理市の境界付近で大和川に合流します。

その谷口には、物部氏ゆかりの宮である石上(いそのかみ)神宮と、幕末に起こった民衆救済の
宗教である天理教本部が川を挟んで向かい合い、古代信仰と現代宗教が織りなす不思議な空間が作
り出されています。

また、上流にある桃尾(もものお)の滝は、落差23mと春日断層崖で見られる滝の中では最大
級であり、古くから行場として知られ、布留(ふる)の滝として和歌や句にも読まれてきました。

この「布留(ふる)」とは、「魂振る(たまふる)」の「ふる」であると言われており、弱まっ
たり遊離する魂を呼び起こし鎮める呪的行為、つまり鎮魂を指していると考えられています。布留
川は今も昔も、神聖な宗教空間をその流域に形成させているのです。



<参考> ・ <http://agua.jpn.org/> ・ <http://www.yamato-river.net/>



大和信用金庫

<http://www.yamato-shinkin.co.jp/>

よみがえれ! 大和川清流復活ネットワーク
大和川清流復活大作戦

2. 川の様子

今回は奈良県天理市東部の山中から流れ出て、石上神宮の北側を流れ、最後は大和川に流れ込んでいる小さな川、布留川を訪問しました。上流部分の水質はとてもきれいでほとんどゴミが落ちていませんでした。そのため初夏には市役所付近でもホタルが舞う奈良県でも珍しい川と言われています。しかし、下流に行ってみると上流に比べ水質は少し汚れており、ゴミもちらはらと落ちていました。

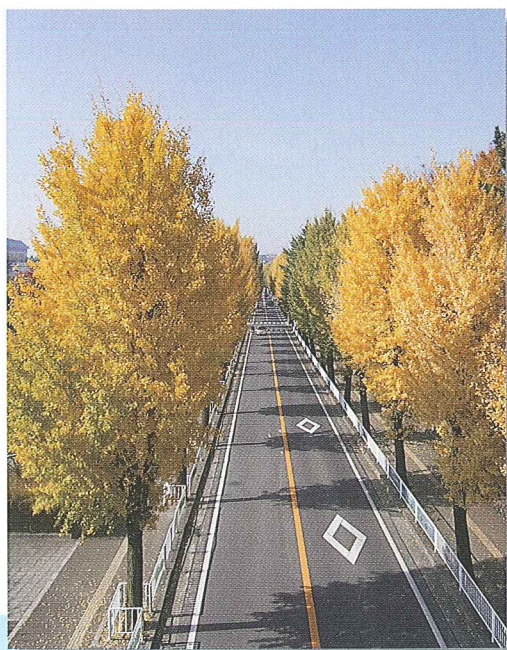


天理ダム付近



東井戸堂町付近

天理大学や石上神宮付近は桜がとてもきれいで、春になると花見に訪れる人でいっぱいになるそうです。そしてこの近くの川沿いには歩道が整備されていて、秋には銀杏を見ながらのウォーキングなど心が癒されると思われます。そして川の近くには石上神宮という有名な神社があります。石上神宮は飛鳥から奈良へと続く日本最古の道「山の辺の道」の中間に位置している神社として有名です。深い山に囲まれていて、緑あふれる山が広がっています。中には2つの国宝建造物の拝殿があります。1つは石上神宮の本来の拝殿でもう1つは他からの移築だそうです。パワースポットとしても有名で多くの人が訪れるそうなので皆さんも是非訪れてください。



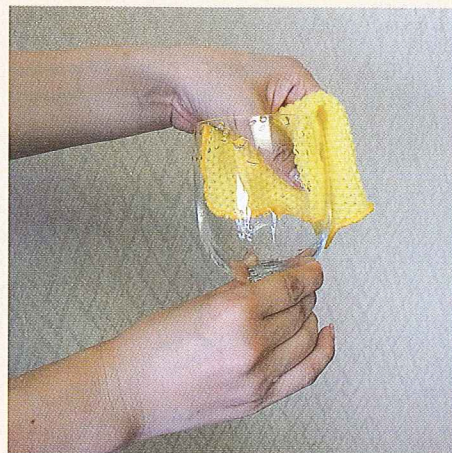
天理教本部付近



石上神宮

3. 生活廃水を防ぐアクリルタワシ

アクリルタワシを作ってみよう！コーナー



材料を用意して、土台を作りましょう！

★用意するもの

- ・アクリル 100%の毛糸（並太）
- ・かぎ針（7号）



毛糸 1 玉から 3 ～ 4 枚のタワシが作れます。

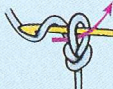
① 最初の目を作りましょう。



② 引っ張って目を引き締めます。



③ 図のように鎖編みで 1 目編みます。



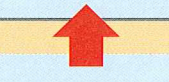
④ ③を繰り返して、25 ～ 27 目の作り目を作ります。



⑫ 2 段目の編み終わりの最後は、前の段の細編みの頭 2 本をすくって 1 目編みます。



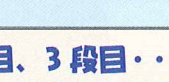
⑬ 再びひっくり返し、立ち上がりの鎖目を 1 目編み、同じように 3 段、4 段・・・と編みましょう。



⑩ いよいよ 2 段目。まず、立ち上がりの鎖目を 1 目編みます。



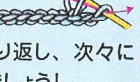
⑪ ⑤～⑦の編み方で 2 段目の細編みを進めます。



できあがり



⑦ もう一度針に糸をかけて 2 目を同時に引き抜きます

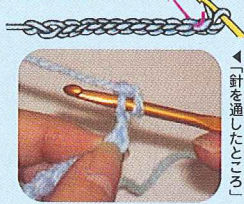


⑧ ⑤～⑦を繰り返して、次々に編んでいきましょう！

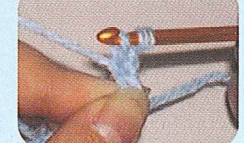
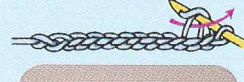
⑨ 1 段目を編み終わったところ。ひっくり返して 2 段目に進みます。



⑤ 土台の作り目が出来たら、作り目 1 目の裏山に針を通します。



⑥ 図のように針に糸をかけて引き抜きます。



2 段目、3 段目・・・と編み進めましょう。

まずは 1 段目を編んでみましょう。

4. 周辺のまちを探索しよう！

天理市といえば、桜の季節には大勢の人で賑わいを見せる石上神宮がよく知られています。今回は知る人ぞ知る名所をご紹介します。



1. 桃尾の滝（もものおのたき）

古来(布留の滝)として知られた名瀧で、今でもその水量は豊富に流れ落ち、古くから修験者の瀧行が盛んに行われ、現在でもその修行は引き継がれているとのことです。瀧行場は青葉若葉に包まれ周囲は心地よいマイナスイオンで充満しており、ハイキングコースにも名を連ねています。

・交通アクセス

最寄駅 JR・近鉄天理駅

天理駅から奈良交通バス

上滝本バス停下車 徒歩5分

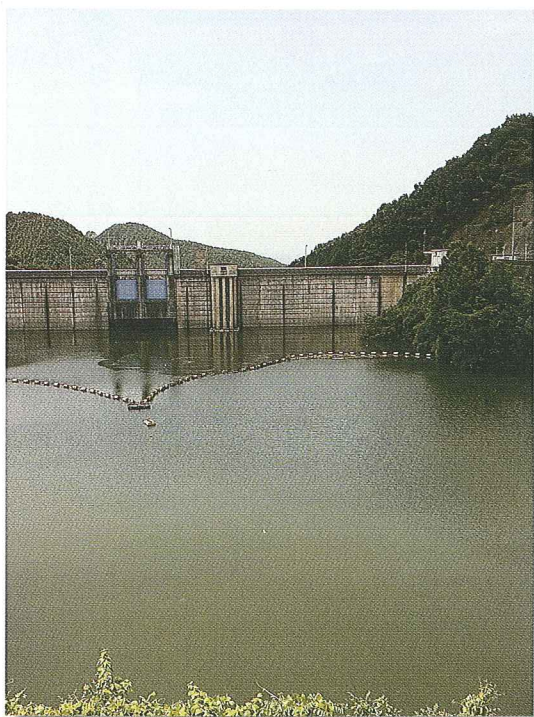
桃尾滝口バス停下車でも可



7月18日開催の「大和川源流体験ツアー」でも桃尾の滝を訪れ、参加いただいた方にも好評なスポットでした。



2. 天理ダム（てんりダム）



天理ダムは、一級河川大和川水系布留川の治水対策としての洪水調節、および河川維持用水の確保、天理市上水道の水源開発を目的として、建設された奈良県初の多目的ダムです。同じ大和川水系の初瀬ダムや滝畑ダムと比べ、供給される水が少ないため小さくこじんまりとしたダムです。ダム周辺には親水公園があり、夏場は特に家族連れの人出が多く、子供と遊ぶには良いところです。

